

<p>課題名 ②脳卒中術後患者に対する回復期リハビリテーションの有用性の検討：10年間の後方視的解析（脳卒中サブ解析）</p>
<p>(1) 新規に導入される医療  (2) 保険診療の対象とならない医療  (3) 患者に不利となる可能性のある医療  (4) <b>その他</b></p>
<p>研究責任者 宗本 滋</p>
<p>概要</p> <p><b>2. 研究の背景および目的</b></p> <p>脳卒中（脳出血、くも膜下出血、脳梗塞）は脳神経外科手術症例の大部分を占める。術後の機能回復における回復期リハビリテーションの有用性を明らかにすることは、今後の治療戦略やリハビリ方針の策定に資する。</p> <p>本研究は、研究①で対象とした全体集団のうち、脳卒中術後患者に限定してサブ解析を行い、疾患別・術式別の回復度と予後を検討することを目的とする。</p> <p><b>3. 研究方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象：2015年4月～2025年3月までに回復期リハ病棟に入退院した脳卒中術後患者（脳出血、くも膜下出血、脳梗塞）</li> <li>データ収集：患者背景（年齢、性別、発症～入院日数、基礎疾患）、手術内容、入退棟 FIM スコア、在棟日数、退棟先</li> <li>研究デザイン：研究①のデータから抽出したサブグループ解析</li> </ul> <p><b>4. 解析</b>：疾患別・術式別に FIM 改善率、FIM 効率、自宅退院率を比較し、背景因子との関連を多変量解析で検討する。</p> <p><b>4. 個人情報の取り扱い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研究①と同様に匿名化処理を行い、個人情報保護を徹底する。</li> <li>データは院内セキュアサーバーにて厳重管理する。</li> </ul> <p><b>5. 倫理的配慮</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本研究は研究①のデータを用いたサブ解析であり、新たな介入は行わない。</li> <li>倫理的妥当性を担保するため、研究①と併せて倫理委員会に申請する。</li> </ul> <p><b>6. 研究実施場所および期間</b></p> <p>実施場所：金沢脳神経外科病院 回復期リハビリテーション 3 病棟  実施期間：2025 年 9 月～2026 年 3 月</p> <p><b>7. 研究責任者</b></p> <p>氏名：宗本 滋  所属・役職：リハビリテーション科 脳神経外科  連絡先：（電話 2303 / メール）</p>